



問題を整理し法案を作成した

「7月8日、法学部主催の「ゲームと社会」に関する研究会を開催し、法学部1～4年次生16人が、それぞれのチームについてグループに分かれ、弁護士とともに配布された。第二東京弁護士会と協力し、弁護士から4人の弁護士を招き、「シエンタ」について議論し、法案の作成に取り組んだ。

「7月8日、法学部主催の「ゲームと社会」に関する研究会を開催し、法学部1～4年次生16人が、それぞれのチームについてグループに分かれ、弁護士とともに配布された。第二東京弁護士会と協力し、弁護士から4人の弁護士を招き、「シエンタ」について議論し、法案の作成に取り組んだ。

法教育プロジェクト 社会課題を弁護士と議論

ゲームで学ぶSDGs



専大生と高校生が 未来の社会考える

「ゲームと社会」をテーマにした授業が、専大生と高校生が一緒に学ぶ機会となった。ゲームを通じて、SDGsに関する課題を共有し、未来の社会を想像し、具体的な提案を出している。専大生は、ゲームの面白さや、仲間との協力、達成感などを語り、高校生は、ゲームを通じて学んだことを話している。

地域とともに

2025専修大学カップ



初優勝

戸塚アイアンボンドス

(横浜市戸塚区代表)



佐々木会長が優勝旗を授与

スポーツを通じて子どもたちの健全育成を支援する「2025専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」(神奈川県野球連盟共催)が、8月8日から15日まで県内の4球場で開催された。各地区の代表54チームが熱戦を繰り広げ、15日に大和スタジアムで行われた決勝戦で、戸塚アイアンボンドス(横浜市戸塚区)がサントナスJBC(相模原市)に1-2で勝利し、初優勝を遂げた。



司会の子さきさん



準優勝のサントナスJBC



地域の子どもたちが「ラボ」を体験



地域の小中学生に体験提供

「ネット情報・ICT教育」をテーマにしたイベントが、専大生と高校生が協力して開催された。ネット情報・ICT教育の授業で学んだことを、地域の小中学生に体験提供した。



無人コンピニで面白い物に挑戦

「ラボ」が協力し、ロボットの製作やプログラミングの体験を提供した。専大生と高校生が、地域の小中学生に、最新のテクノロジーを体験してもらった。子どもたちは、ICT教育で学んだことを、実際に体験することができた。専大生は、子どもたちと学びを共有し、楽しんでいる。高校生は、ICT教育を通じて学んだことを話している。